



令和5年度 城山中学校グランドデザイン

学校教育目標

日々の生活の中で

校訓：「**覇気と感動**」「**自治の精神**」

を体現する生徒の育成

めざす生徒像

- 自ら学び、考え判断し、主体的に行動できる生徒
- 人との関わり合いを大切にし、互いの良さを認め合える生徒
- 誠実に、質朴に励み学ぶ生徒

めざす学校像

- 生徒が学びたくなる学校
- 保護者が通わせたい学校
- 地域にこの学校があって良かったと思われる学校
- 職員が勤めたい学校

めざす教職員像

- 常に子どもを真ん中におき、子どもを信じ抜く教職員
- 常に研究に努め専門性を磨き、質の高い教育を実践しようとする教職員
- 教育公務員として、高い規範意識を持つ教職員

小田原市の学校教育における目指す ●子どもの姿 ・基本目標

- 未来を創るたくましい子ども
 - ・命を尊重し、豊かに伸ばす自分づくり
 - ・地域ぐるみで取り組む教育環境づくり
 - ・多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり
 - ・生涯学び、活躍する社会を築く環境づくり

○基本姿勢

- 「誰ひとり取り残さない学び」「地域資源を生かした学び」「公民連携による学び」の推進

基本的な経営方針

確かな学力・生きて働く力の育成

- 1 確かな学力の向上
 - (1) 学習意欲を喚起する授業実践、授業改善を実践する。
 - ・主体的、対話的な深い学びの実践
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・ICT教育の充実
 - (2) 学習評価の充実に努め、指導との一体化を図る実践をする。
 - ・各種調査結果の積極的な活用
- 2 思いやりの心の育成
 - (1) 自ら考え積極的に行動する生徒の主体性を育成する。
 - ・基本的生活習慣の徹底
 - ・充実感、達成感を味わわせる学校行事の実践
 - ・図書館教育の充実
 - (2) コミュニケーション能力の育成を図る。
 - ・総合的な学習、キャリア教育の充実
 - ・部活動の充実

安心して通える楽しい学校づくりの推進

- 1 生徒指導の充実
 - (1) 生命尊重、人権意識の向上を図る。
 - ・いじめ・不登校の未然防止
 - ・いじめ等の早期発見、早期対応
 - (2) 学年・学級経営の充実にめざす。
 - ・心の居場所となる学級づくり
 - ・認め合い、励まし合う学年づくり
 - ・Hyper-QUの効果的活用
 - (3) より良い教育相談体制の構築を図る。
 - ・スクールカウンセラーを活用した教育相談の充実
- 2 インクルーシブ教育の推進
 - (1) 校内支援体制を強化する。
 - ・教職員全員で子どもに関わる体制づくり
 - ・特別支援学級との交流の推進
 - ・保護者・関係機関との連携
 - (2) インクルーシブ教育に係る職員研修の充実を図る。
- 3 学び合い支え合える職員集団の育成

地域との連携による教育力の向上

- 1 地域に根ざした教育の充実
 - (1) 家庭や地域の力を生かした教育を充実させる。
 - ・学校運営協議会による地域教育力の活用
 - ・スクールボランティア活動の推進
 - (2) 学区小学校、幼稚園等との交流を積極的に勧める。
 - ・小中連携における「感謝と自治」に係る心情の育成
- 2 開かれた学校、信頼される学校づくりの推進
 - (1) 学校評価の充実を図る。
 - ・学校評価の適切な公表による学校運営に係る透明性の確保
 - (2) 地域行事への積極的な参加を図る。
 - ・防災・防犯教育の充実による地域での活動の充実